



# 協体さあふじ

「藤沢市体育協会広報」第7号

発行日 昭和62年11月30日  
発行・編集 藤沢市体育協会  
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内

## 「スポーツの三面性」



神奈川県体育協会副会長 馬飼野 正治

十月九日の神奈川新聞で『藤沢市のスポーツゾーン開発構想まとまる』という記事を読ませてもらった。この構想では、市内を南部、中部、北部の三ゾーンに分け地域の特性を生かしたスポーツの推進をはかることをねらいとしているようである。

ややもすると広域的なスポーツを華やかに鳴りもの入りで展開する風潮の中でコミュニティに焦点をおいたことは、まことに時宜を得た計画といつてよい。この計画を早期に表現し、市民一人一人の日常生活に定着させ市民総健康の実を挙げるためには、藤沢体協の組織の総力を結集し、リーダーシップをとらなければならぬのではないかと思う。スポーツの発展は、その市の発展の原動力となり、スポーツを通じての健康体力づくりは市政を支える強力な基盤となるものだと思う。

十月九日の神奈川新聞で『藤沢市のスポーツゾーン開発構想まとまる』という記事を読ませてもらった。この構想では、市内を南部、中部、北部の三ゾーンに分け地域の特性を生かしたスポーツの推進をはかることをねらいとしているようである。

第三の側面は健康性である。ユーゴで開催された冬季オリンピックで英国のトビービル・ティーン組がアイスダンスで史上はじめて最高の芸術点を出したが、私もテレビを通じてあの優美さ、華麗さを見たがまさに芸術の極致の感を深くすると共に、格式の高い文化であると思つた。このことは、あらゆるスポーツに通ずることだと思ふ。

又、教育性について云えば、運動の実践を通じて人間性の発展を企画する教育であるとも云える。イギリスのアーンノルド氏がバブリックスクールの正課として、クリケットやサッカーやラグビーを通じてジュエントルマンの育成をしたと云うが、スポーツは人間形成に大きく貢献するものと思う。

又、健康の側面から見れば、最近

ブームであるエアロビクス(有酸素的運動)スポーツの幾多の成果を見ても、大脳生理学が唱えるボケ防止対策を見てもスポーツが人間の生命と直結してきたのは、近代スポーツの特徴といつても良いと思う。

このような観点からスポーツを見る時、スポーツはまさに国づくり、街づくり、コミュニティづくりの基盤をなすものであると云える。競技力の向上と、市民スポーツの開発と発展を目指す体育協会の使命は、益々重いと思う。藤沢市体育協会のいよいよの発展を祈念する。

### 『県体育協会スポーツ医学専門委員会からのお知らせ』

昭和59年と昭和61年の3ヶ年にわたって約7000名の小・中・高校生を対象としたスポーツ活動に伴なう傷害の実態調査を行いました。この結果をまとめ、このたび若年層のスポーツ活動の安全で適切な実施にむけて、指導者のための安全指導の手引パンフレットを作成します。(十二月上旬完成予定)ご希望の方には、有料で配布いたします。

また専門スポーツドクターによる「スポーツ医事相談」(無料)を行っておりますので併せてお知らせします。

問い合わせ先 045-311-0653



戦後の混乱期に、活力ある明るい社会を築くために、スポーツを通じて青少年の健全育成、文化の向上を図るため、昭和二十一年に結成された当協会も結成以来満四十一年を経過しました。

結成当時は、大会々場の確保にも事欠く状態で、高校、小学校の体育館を借用するなど大変苦労した時代でありましたが、その後、秩父宮記念体育館の完成、最近では秋葉台文化体育館の完成をみて、両体育館をメイン会場として各種の大会を開催し、親しまれるスポーツ「卓球」の競技力向上と、市民相互の交流と健康増進のため努力をしています。

一、卓球技術の向上と日中交流

当協会が主管する関東大会、各種の全日本大会等を開催し高度な卓球技術を吸収し競技力の向上に努めるとともに、昭和四十八年、五十七年には世界最高峰を行く中国選手団を招請し、日中交流も活発に展開してきました。

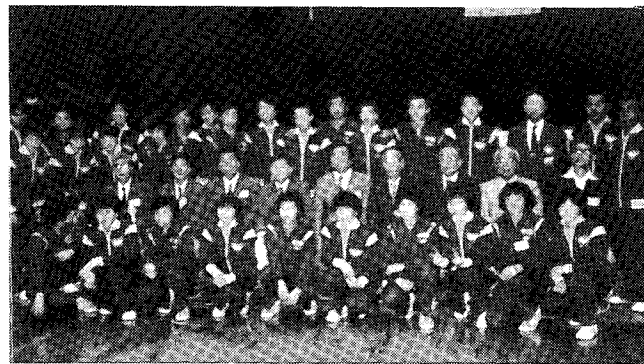
一、活動の目標

卓球は大衆スポーツです。気軽に身近な所で親しむことも出来ません。二人以上なら可能なスポーツなのです。老若男女を問わず広く市民に親しまれる卓球の普及に努めるとともに、小・中・高校生などの健全育成、家庭婦人の親睦と健康増進、競技力の向上を図るための大会を開催しています。

特に、最近では健康増進を図るための家庭婦人の卓球熱は盛んで市内には四〇〇人程の愛好者がいます。本年度から協会の組織改正を行ないレディース部を新設しました。市内の卓球を愛好するすべての家庭婦人が一堂に会する唯一の団体です。運営は、レディース部が主体性をもち、会員の意見をききながら民主的運営を図っています。

一、優秀選手育つ

“御所見中学校全国優勝成る”  
昭和六十二年全国中学校選抜体育大会(全国大会) 女子団体戦



で安定した試合運びを見せ準決勝で前年優勝の武蔵野に競り勝ち、決勝では浜松女子商業高校併設を破り初Vを達成、個人戦で青池、河合選手それぞれ二位、三位に入賞するなど地元藤沢で育った選手が大活躍しました。

また高校では、相工大附属高校が過去全国制覇をはじめ優秀な成績をおさめ、全国高校のトップレベルの水準を保っています。

実業団チームは、武田薬品湘南工場が今年の日本リーグ春季で宿

敵日産自動車(横浜)を破り初優勝を成し遂げ、その勢いで全日本実業団制覇と決進撃

こうして、中学生から実業団に至るまで多くの優秀選手が育ち活躍しています。卓球王国藤沢を指し協会員一同頑張っています。

今年の市民大会から、シルバールの部を設けました。六十才以上の方であれば誰でも参加できる種目でありました。初の試みで参加者数は少なかつたが、お年寄りが日頃の練習の成果を発揮する場として真剣にプレーする姿は、まさに頼もしいかぎりでありました。

今後も卓球のもつ大衆性を活かして、幅広い市民層が参加できるように一層の努力を重ね、市民に喜ばれる協会運営に努めて参ります。

昭和62年度卓球協会登録状況

チーム数	三一チーム
登録者数	
小学生	十八人
中学生	四十五人
高校生	百四十人
一般	二二三人
合計	八三六人

# 県 総 体

## 5 位 入 賞

第38回神奈川県総合体育大会が、9月27日をもって幕を閉じました。県内26都市の参加の中で冬季大会、夏季大会、秋季大会に熱戦が繰り広げられました。

組み合わせ等の有利、不利はあるものの、本市代表選手は各競技に健闘し総合で昨年より一つ上がり5位の入賞を果たしました。

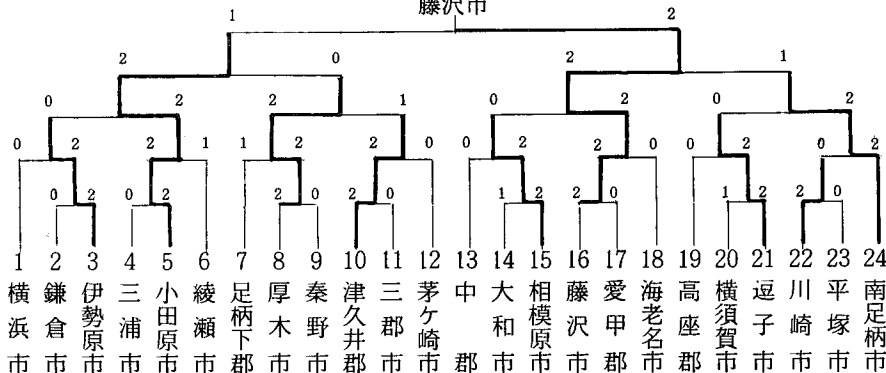
とりわけバレーボール競技においては男子1位・女子2位・総合1位と堂々の成績をおさめ毎年安定した力を発揮しています。その他の競技では、サッカーブロック2位・剣道3位・夏季大会においては軟式庭球が大会初の準優勝に輝きました。

入賞しなかった競技においても惜敗したものもあり、来年はあと少しのふんばりを期待したいと思います。年々本市もスポーツ人口は増えておりますが、競技人口を確保するのはむずかしいと思います。その点においては各協会の努力とご協力をお願いするところとなっております。いづれにせよ各協会・選手の皆さんご苦労さまでした。来年度の上位入賞をめざして頑張っていたきたいと思います。

### 第38回神奈川県総合体育大会総合成績（抜粋）

順位	都市名	スキー	ソフトボール	軟式庭球	水 泳	陸 上	バレーボール	卓 球	剣 道	軟式野球	バスケットボール	柔 道	弓 道	サッカー	バドミントン	クレ-射撃	得点合計
1	横 浜	25	24	14.5	26	26	15	6	26	25.5	20.5	26	26	20.5	20.5	24	325.5
2	川 崎	24	14.5	14.5	23	25	22.5	6	25	5.5	25.5	25	25	23.5	24	25	308
3	小田原	17	25	14.5	25	22	25	25	8.5	23.5	14.5	20.5	9	25.5	20.5	19	294.5
4	相模原	26	6	20.5	24	17	9	24	14.5	20.5	14.5	16.5	20.5	14.5	26	26	279.5
5	藤 沢	20	14.5	25	21	19	26	14.5	24	5.5	14.5	16.5	14.5	23.5	14.5	22	275
6	横須賀	16	26	6.5	16	24	9	26	8.5	25.5	14.5	20.5	14.5	20.5	20.5	17	265
7	大 和	19	20.5	20.5	20	21	18	20.5	20.5	5.5	20.5	20.5	14.5	14.5	14.5	14	264
8	秦 野	22	6	14.5	17	20	9	23	8.5	20.5	14.5	20.5	23	14.5	8.5	20	241.5
9	平 塚	23	14.5	6.5	19	14	11	20.5	14.5	5.5	20.5	13.5	20.5	20.5	14.5	11	229
10	鎌 倉	18	14.5	20.5	14	13	1	14.5	20.5	14.5	20.5		20.5	14.5	25	15	226
備 考						青年女子優勝	青年男子第3位 青年女子優勝						青年の部準優勝		青年の部第3位		

### 藤 沢 市



男子バレー成績表

その他の主な成績

軟式庭球（準優勝）  
一回戦 対平塚 4-1  
二回戦 対川崎 3-2  
三回戦 対大和 3-2  
準決勝 対伊勢原 3-0  
決勝 対茅ヶ崎 1-3

女子バレーボール（準優勝）  
二回戦 対津久井 2-0  
三回戦 対厚木 2-0  
準決勝 対川崎 2-0  
決勝 対大和 0-2

剣道（第三位）  
二回戦 対津久井 3-2  
三回戦 対逗子 3-2  
準決勝 対横浜 0-5  
三位決定戦 対足柄下 3-2

サッカー（Aブロック2位）  
二回戦 対中郡 2-1  
準決勝 対茅ヶ崎 2-0  
決勝 対小田原 0-1

## 第42回市民総体

—各種目に熱戦が展開—

第42回藤沢市民総合体育大会が、去る九月六日に県立体育センター陸上競技場ほか市内各地で、地区対抗競技が34地区三、三七八人の参加の下、盛大に開催されました。

各競技に熱戦が展開され、総合得点では、優勝と準優勝とが0.5点差と白熱した成績でした。総合及び各種目の成績は次のとおりです。

また、この日を中心として各種オープン競技も開催され、大勢の市民の参加を得て開催されています。

総合成績 優勝 大庭地区  
準優勝 滝の沢地区  
第三位 天神地区

競技別優勝  
陸上競技 村岡地区  
バレーボール 藤沢地区  
軟式野球 降雨により中止  
軟式庭球 明治地区  
ソフトボール 六会地区  
バドミントン 大庭地区

## 第一回藤沢のスポーツ史に関する

### 座談会開催される

市政五十周年を記念して、藤沢のスポーツに関する歴史を編さんしようという事で、前体育連盟関係者と行政OBが一堂に会し、七月四日午後二時三十分より、市民会館第一会議室に於て、座談会を開催いたしました。

出席者

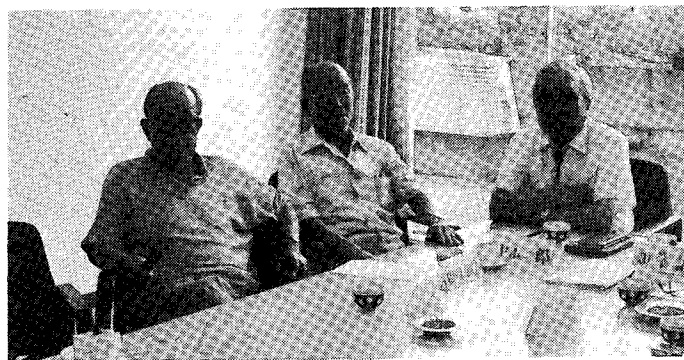
現協会役員 会長 中山二郎  
副会長 柳川 賢  
西島 光  
理事長 関根智治  
副理事長 小泉勝彦  
前会長 田辺政吉  
前副会長 関水正文  
行政OB 山館富士雄  
鈴木孝明  
生田義治  
平田和男  
加藤 誠

スポーツセンター所長

加藤 誠

むし暑い中、皆さんお話を熱が入り、あっという間に二時間三十分がすぎしまいました。殊に関水氏による故秩父宮殿下との楽しいエピソードなどが披露され、記録に残されていない貴重なお話がたくさん出されました。

尚体育連盟発足当時等、藤沢のスポーツに関する資料をお持ちの方は、ご提供下さい。



むかって左より関水氏、田辺氏、中山氏

## スポーツ人の集い

### お知らせ

本年一月二十四日新春に行なわれた、第二回「スポーツ人の集い」は盛況のうちに終了いたしました。

第三回は、昭和六十三年二月十三日(土)に予定しております。詳しくは後日お知らせを致しますので、前回にも増して、関係各位の深い御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 賛助会員入会のお願い

皆様におかれましては、日頃賛助会員制度の趣旨をご理解いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

昭和62年度も入会手続きをいたしておられます。一人でも多くの方々に賛同いただきますよう、お願い申し上げます。

なお詳細につきましては、藤沢市遠藤三二七二 秋葉台文化体育館内 藤沢市体育協会 881-1111までご照会ください。